6/26 豪雨災害対策連絡会：議事録

主催：伏見地区自治協議会
伏見地区自治連合会
伏見地区自主防災防犯協議会

１　日　時　　８月３１日（月）　１３：３０～１５：３０
２　場　所　　伏見地域ふれあい会館　大会議室
３　出席者　①奈良市建設部　次長：徳岡弘之
道路建設課　課長：川口直人
河川耕地課　課長：中谷良司
道路維持課　課長補佐：西山智久
②奈良市議会　　議員：榎本博一
③伏見地区自治協議会　会長：森川生一（自主防副会長）
副会長：中村　守（人推協会長）
事務局長：坪井義夫（民生・児童協会長、自主防監査）
④伏見地区自治連合会　会長：松本俊彦（自治協副会長、
西大寺野神町１丁目自治会長）
副会長：武田光代（前西大寺野神町２丁目自治会長）
会計：山元眞明（前西大寺新田町自治会長）
西大寺南町自治会長：森本みどり
西大寺芝町１丁目自治会長：福村守弘
西大寺芝町２丁目自治会長：松尾孝司
青野町自治会長：星川大地
疋田町２丁目自治会長：万徳芳一
⑤伏見地区自主防災防犯協議会　会長：幸路敏子（自治協副会長）
事務局長：藤田陽康（自治協会計、菅原東町自治会長）
３　主　題　「６月２６日早朝豪雨による伏見地区内の被災状況と今後の対策について」
４　進　行
■自治協会長：森川が司会。正確な記録を残すために写真・録音を取らせていただく。
■本日出席いただいた奈良市建設部の皆さん、及び榎本市議を紹介する。
（１）開会挨拶　伏見地区自治協議会会長　森川　生一
■会長から本会に至る経緯と本会の目的について説明があった。「6/26 の早朝６時に奈良市から大雨警報が出され、雨が止んできた７時に外の様子を確認に出ると、自宅前の道路が流水で水没していた。すぐに自主防 LINE グループで情報提供すると、同様の被害報告があり、伏見地区全体の［内水氾濫］の問題であると認識し、何とかしなければと考えた。まず、被害状況を正確に把握することにし、[6/26 豪雨による伏見地区浸水状況調査結果]にまとめた。また、このままだと１０年後にはもっと酷くなるのではないかと考え、そうならないようにするために地域団体としてどうしたら良いかを考えた。そこでまとめたものを奈良市の担当者に視てもらい、意見をいただきたいということで今回の［報告会］になった。」「地域と奈良市が連携して［内水氾濫］対策に取り組みたい。そのために本日は、

持っている情報を交換して共通の土俵を造り、地域と奈良市がそれぞれ何ができるか、連携してできることは何かを明確にする場にしたい。しっかり意見交流をして、１０年後に［内水氾濫］を伏見地区からなくしたい。」
■次に、奈良市建築部を代表して、富岡氏より一言ご挨拶をいただいた。（省略）
（２）基調提案　　※応答の記号：「伏見地区から」〈奈良市から〉
■「本日の連絡会では、まず、被災状況を踏まえ、地元で考えていることをまとめて［基調提案］をする。その後、それぞれの立場から意見をいただき、協議したい。」
１　被災状況の集約結果
■質問「奈良市は伏見地区の被災情報を把握されているか。」回答：資料『奈良市内　浸水・冠水被害の調査対策箇所図』の配付。〈このように、伏見地区では６か所を把握している。〉
■「今回のような緊急事態が発生した時に、伏見地区では即座に対応するシステムがなかったことが分かった。今回、私たちが集めた情報は、正確性に欠けているため、最初に確認をさせていただいた。」「これを契機に伏見地区では、緊急対応を次のようにすることに決めた。（※以下は、当日の質疑の補足説明も含む。）
①自治連合会に加入している自治会については、自治連合会で情報収集・発信をする。
②単位自治会や自治連合会に未加入の個人や自治会については、自治協議会が情報収集・発信をすることになるが、Web 掲示板やＥmail などを経由することになると考える。
③緊急事態については自主防が情報収集・地区方針の検討・情報発信を統括する。
［事例］…避難所の開設・運営（伏見地区災害対策本部の設置・運営）
④各団体の連携は自治協議会が行い、協働連携が必要な場合は自治協がステージの準備・運営を行う。」（※今回の「6/26 豪雨災害対策連絡会」が該当。）
この連絡会は地区として最初にできたことである。」
■「市と地域の間でも、情報共有が一番大事であり、それについてはこんなやり方があるとぜひ教えてほしい。例えば、アンダーパス冠水では、車が入って救助が必要な場合は、消防団に連絡して応援要請をすることになるのでは。後から来た車を止めないといけない場合は、西大寺交番に連絡して来てもらって交通整理してもらう。これらのことはわかるが、それ以外のことはこうしたら良いと教えてほしい。」「奈良市ではこのような場合は、どこが対応するのかも教えてほしい。」
２「奈良市内水ハザードマップ（6/26 更新）」との比較結果
■「奈良市内水ハザードマップは、すでに被害があって、これは何とかしなければならないと考えて作成されたと思う。」「内水ハザードマップは大変貴重な情報なので、自治会でも皆さんに周知してほしい。」奈良市内水ハザードマップを拡大していく過程を実演する。次に、『6/26 豪雨による伏見地区浸水状況調査結果』を示しながら説明する。「更新された 6/26 の段階で、西大寺芝町二丁目でピンク色（0.5～3.0m未満の内水浸水想定区域）になっている部分は間違い。すでに水田が宅地開発されて住宅地になっており、そのため遊水機能が失われ、これまで以上の内水氾濫になった。」この後、各自治会の内水氾濫の状況を、関係者にも補足してもらいながら説明する。西大寺新田町、西大寺野神町一丁目、西大寺芝町一丁目、西大寺芝町二丁目、青野町、西大寺国見町二丁目、若葉台三丁目、疋田町二丁目、疋田町三丁目等。「今回の床上浸水したマンションと地域が連携できなかった事象が発生しており、被災住民も困っておられたこともあり、市としてもマンションや集合住宅

の所有者に対して、このような時はこのように対処するようにと指導してほしい。」
■「カネダビル１階に西大寺こじか診療所があるが、ここの浸水が相当深い。」「その近くに西大寺南町丘の上公園があり、その下に貯水槽があるが、それが機能しなかったのではないかとの指摘がある。いかがか。想定外であったならば、地域としては何もできないので、市として何らかの対応をぜひ取っていただきたい。」
■「蛙又池から大池川（一級河川）が秋篠川まで流れている。５年ほど前に改修された水門が設置され、地元水利組合が管理している。田植えの時期であり、6/26 の早朝に水門が閉まっていたという指摘がある。事実関係は不明であるが、地域としては、これまで注視してこなかった水路や水門についても、巡回する際に注意したい。」「我々は水路を管理する方にこうすべきだとは言えないので、市として大量の雨水が流れる時には、こうした方が良いというガイドラインを示してもらえないか。」〈農政課という課があるが、ため池などの水量については、梅雨前に毎年水利組合の方にお知らせを出している。それに関連してできたらよいと思う。〉「意見があったと伝えてほしい。」〈はい。〉「アンダーパスの冠水については、被害はなかったか。」〈なかった。〉

３　今回の被災は何が原因か？

■「なぜ、こんなことが起こったのか。複合的な原因があって、その結果、このような状況になった。つながり方によっては、別の結果が出る可能性もあったと捉えている。」「一つ目の原因として、地球の温暖化がある。温暖化についても、地域の状況によって一概には言えないが、日本も今までとは全く違う状況にある。これまでは東北・北海道は梅雨がないと学んだが、今年は梅雨前線が東北・北海道に停滞していた。日本は周りを海に囲まれており、まだ温暖化の影響が少ないとしても、奈良市、伏見地区が１０年度後はどうなっているか、それを想定して行動しなければならない。今回は時間雨量が４０㎜だったとしても、これが５０㎜、６０㎜になるのではないかと考えなければならない。内水氾濫が少しでも抑えられるように、奈良市としても、伏見地区としても、力を合わせて何とかしなければならない。基本的な原因として、温暖化がある。」
■「二つ目として、地域の遊水機能が失われていることがある。西大寺芝町二丁目は水田がまったく無くなった。西大寺駅前でも宅地開発が進み、水田がどんどんなくなっている。水田には大雨が降った時に、冠水して一時的に水を貯め、雨が止んで徐々に排水していく機能がある。その遊水機能が失われてきた。その結果、雨が降ると直ぐに水路に流れ、排水できずに氾濫する。この考えが正しいとすると、何とか手を打たないともっとひどい状況になる。」「例えば、奈良市が宅地化を許可する時に、調整池を造るよう指導しているが、開発地の規模による。基準より小さければ作らなくて良い。現在、芝二で進む宅地開発では、業者が開発地を分割し、基準より小さくして許可を得て宅地化を進めている。すると公園を造らなくて良い。今回の宅地開発地はこれまでにも水田が冠水していた場所であり、宅地開発すると必ず芝二の冠水はひどくなると指摘してきた経緯もあり、調整池をしっかり造り、今回は機能したことを確認した。しかし、公園はまったくない。これは問題だと考えている。調整池のあるまちづくりをしていかなければ、内水氾濫は止められない。間違っているならば、ご指摘を。」また、流水係数の見直し等についても指摘があった。
■「三つ目。水路の先は、一級河川であり、そこが止まったら次々と上流が流れなくなる。そこを考えなければならないのではないか。現場を確認していないので 6/26 に起こったか

どうかは断定できないが、その点も確認・検討すべきではないか。この点は、一級河川の氾濫に繋がることにもなるので、奈良市としてはどう考えているか。」
■「四つ目、貯水槽の問題。根本的に遊水機能が無くなっているとすると、遊水機能を増やせないか。そのアイデアとして公園の活用がある。公園に水が入るようにして、遊水機能を持たせるなど、地域の中に遊水機能を持つ場所を増やしていけないか。道路の下に設ける、水路を拡げる、いろんなアイデアを出して根本的な方策を考えないと解決しない。専門家としての意見をいただきたい。」〈市としては、認識している。〉

４　伏見地区としての今後の課題は？

■「住民として、自治会として、関係団体として、地域として何ができるか。水の流れを溜まらないように変える。流れる水を分散させることはできる。6/26 以後、公民館裏の青野町街区公園に土嚢が３０個ほど置いてあったが、奈良市に自治会からお願いすれば、一定量の土嚢をいただけるのか。」〈数に限りがあり、その時に保管している土嚢があれば渡せる。〉「土嚢を使って、流水の進入を防ぐとか、流れをかえることはできるか。」
■「情報をもっと流していかなければならない。内水氾濫があること、それぞれの家でできることと地域でできることがあることを知ってもらい、それをみんなでしましょう。それについては、奈良市の協力を得ましょう。」

５「奈良市内水ハザードマップ」の問題点は？

■「住民一人一人の安全に関わることになるので、古いデータの部分は更新してほしい。また、実際の状況を取り入れ、予測精度を上げてほしい。」

６　奈良市としての課題は何か？

■「すでに意見や質問をしているので、それらを踏まえて、内水氾濫が起こりにくくするように奈良市としても課題を検討していただきたい。」

（３）意見交流

■「基調提案を受けて、奈良市としての意見をいただきたい。」〈内水ハザードマップについては危機管理課が担当して作成しているので、提案を伝えたい。〉「マップは危機管理課としても、内水氾濫は水路関係のことなので、そちらの方にも伝えてほしい。」〈今の雨は異常。これまでの想定を超えている。田が無くなって水が浸透しにくくなった状態で、秋篠川があふれるようになっており、富雄川もそのような状態。ダムを造るとすると億単位の費用が必要になる。そうではなくて、何かできることはないか。道路のルートを変えるとか、流れのルートを変えるとか、川への流れを分散させるとかを考えている。公園貯留や道路貯留など、今ある公園や道路の活用を考えないと追いつかない。水路の水門の開閉との連携も考えないといけない。今、奈良県では時間５０㎜の豪雨を想定しているが、今はそれ以上、更に７５㎜、１００㎜も想定する必要があると思う。クランプになっている水路をまっすぐするとか、少しでも改善できるように考えたい。〉〈芝２でも流域調査をしている。更に東側で、これまでに何度か水が着いているところを重点的に調査し、何とか少しでも氾濫を抑えるようにできないかと取り組んでいる。〉
■「雨水を溜める水槽はどこにあるのか。教えてほしい。秋篠川に流せないならば、途中のどこかに溜めるしかない。まず、雨水を溜める水槽がどこにあるのか、その容量はどれぐらいなのかを教えてほしい。」「雨水を溜める水槽とか、災害時に飲料水として使うための貯水槽とか、火災の時の消火用の水だとかいろいろ言われており、その目的も明確にし

てほしい。」これらについては、建設部で調査し、その回答は榎本議員を通して森川会長に届けていただけることになる。届いた回答は公開する。
■「芝２で内水氾濫を起こした雨水は、更に様々な経路で、下流域の南町・芝１・国見町２丁目等で浸水を起こしている。6/26 より以前に、内水氾濫のあったそれらの地域に浸水対策の名目で市から調査に来ていたが、その調査結果を教えてほしい。」〈調査結果がまだまとまっていない。〉この点についても、調査結果がまとまり次第、榎本議員を通して森川会長に届けていただくことになる。届いた調査結果も公開する。
■関連することとして、会長より「当日の水の流れはどうだったのかは、地図を見ても分からない。自治会しかわからないのではないかと考え、『芝２流水・内水マップ』を作成した。」と説明があり、各自治会でも作成して対策に使ってほしいとの提案があった。それに対して、「提案はわかるが、そのあとどうしたら良いのか。流れを変えるとしても、その下流に影響が出る。」「まず実態を把握しようと提案している。その上で、ではどのように対策をしたら良いかを考えることになる。良いアイデアがあれば教えてほしい。」
■「排水パイプの口径は、住民の排水量とか雨量とかを計算して決めていると思うが、田に家が建つと何もしなくても排水量が増えるが、改善されていっているのか。」〈分からない。基本的に川は下流から決めていく。〉「秋篠川の水位が上がると逆流し、国見町２丁目周辺が流れなくなる。そこで、雨水を貯めて少しずつ流していくしかない。３つある貯水槽に貯めれば良いが、目的が違うものがあるという。それが一番大事だと思う。２本の川に雨水が集まって秋篠川に流れても、秋篠川の水位が高いと逆流するから、それまでに何とかする仕組みを作るしかない。」〈一遍に集まると氾濫するので、短時間の雨ならば、流域を考えて流れを変えて一時的に貯めて、少しずつ時間差で落とすように考えなければならない。河川、水路、側溝の泥の状況などの様々な情報も集め、検討したい。〉
■「川の土砂を揚げて、市に取りに来てほしいというと、ダメだと言われた。」〈我々の管理する市道ならば、道路維持課で取りに行く。〉手続きあり。
■「南町の貯水槽（丘の上公園下）に西大寺北地区から流れてくる水が来ているのか。貯水槽には、菅原東町、芝町、小坊町から雨水が流れて暗渠に入り、ＹＭＣＡに流れている。もう一つ、西大寺駅南部の区画整理の際に、駅の方から来ている水があることを聞いた。どこから流れているか教えてほしい。西大寺北地区から来ているのではないか。」〈させてほしい。〉「予定の時間になった。他にないか。」特にないと判断。
■「市から補足はないか。」〈はい。〉「榎本さん、何か。」［いただいた内容については、会長と相談しながらお返しさせていただく。何か問い合わせがあれば、会長を通してで結構なので、よろしくお願いしたい。取りまとめは私の方でする。］
（４）まとめ　　伏見地区自主防災防犯協議会会長　幸路　敏子（省略）
（５）閉会挨拶　伏見地区自治連合会会長　松本　俊彦（省略）

2026. 10. 28 作成　文責：森川